

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)加古川市・(株)シーナ様邸新築	階数	地上4F
建設地	加古川市野口町坂元字クラク138番	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	76人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,840時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	
敷地面積	1,399㎡	作成者	西川聡子
建築面積	726㎡	確認日	
延床面積	2,494㎡	確認者	西川聡子



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	エネルギーの高効率化、躯体の耐久性の向上を基本に、標準的な取り組みが行われた計画としている。	その他 0
Q1 室内環境	庇・ブラインド・カーテンで直射日光を制御している。	Q3 室外環境(敷地内) ・周辺の町並環境の向上に寄与するデザインとしている。 ・敷地内に緑地を設置し、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	高効率給湯器・LEDなどを採用し、CO ₂ 削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 植栽、地被等により敷地外への熱的な影響を低減するよう配慮している
	Q2 サービス性能 0	
	LR2 資源・マテリアル 再生可能な躯体・外装仕上材を採用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される